

編集委員会から会員の皆様へ

1. はじめに

熱測定研究会時代を経て^{1,2)}日本熱測定学会が設立され³⁾、現在の姿の学会誌「熱測定」が発行されるに至ったいきさつを編集委員会の立場からミニ年表でふりかえると次のようである。

- 1965 第1回熱測定討論会(日本化学会主催)大阪で開催され約200名参加。
- 1969 熱測定研究会設立。熱測定討論会を主催。
- 1970 NEWSLETTER Vol.1発行される。
- 1974 日本熱測定学会と改組し新しく出発。機関誌「熱測定」発行はじまる。編集方針⁴⁾(同年2月から実施)により、巻頭言、総説、講座、ノート、資料、論文紹介、各種記事、報告、会告などを内容とした(原著学術論文は扱わない)。年4回発行。
- 1976 現在使用中の「熱測定」投稿規定⁵⁾が定められ、1977年度から原著学術論文の毎号掲載を決定。
- 1977 原著学術論文の掲載はじまる。
- 1981 「熱測定」Vol.8, No.4(1981)までに原著学術論文35件を数える。

先人の諸先生方の筆舌につくし難いご努力により、現在のような立派な学会に発展したことに改めて衷心より敬意を表するとともに、編集委員会として「熱測定」の内容をさらに充実させるための責任の重大さを感じている。

2. 本年度の編集方針の概要

基本的には1977年以来の歴代の編集委員会における編集方針と変わらないが、学会をとりまく現状認識をふまえた学会および会員へのサービスのあり方などとも関連し、当然、種々の努力、工夫が必要であると考えている。

56年5月に委員を対象とした「熱測定」アンケートによる編集上の参考となるいくつかのご意見を次に示す。

(1) 原著論文、ノート(掲載論文、ノートの質的な問題およびレベルに関連したご意見、ご感想)。

i) 既に発表済みの内容でも、数報をまとめ問題点を明らかにした総合報告的なものを希望。

ii) 論文中の装置や測定に項で説明されている内容は、一般にブロックダイアグラム程度のもが多い。装置試作上の参考のためにも、装置や測定について最も工夫された点やノウハウに近い点の詳細な記述を希望。

iii) 年に1度ぐらい熱測定に関連する分野のレビュー的な英文総説希望。

(2) これまでの会誌に対するご意見、今後の要望。

i) 解説、総説は資料や講義録として有益である。太陽エネルギー、ヒートポンプ、熱機関から化学エネルギーまで、熱の分野の最高権威のある和文の雑誌であってほしい。

ii) カロリメトリーに片寄らず、研究室、工場現場

にわたる広い分野でのカロリメトリーと熱分析の雑誌であること。

iii) 学会に活力を与えるため、若手研究者の発言を求め、たとえば最近博士の学位を得られた人に「総説」や「講座」を依頼する。

ここでは、今後とりあげる具体的なテーマや、投稿の可能性のある事項などについての多数のご意見は省略するが、上記ご意見とあわせて編集上の参考にさせていただきたい。

歴代の編集委員会では原著論文の投稿の確保について苦心し、必ずしも容易でない点をご理解の上、すぐれた原著論文の充実に積極的なご協力をお願いしたい。以下に具体的な編集の企画や検討中の事項を示そう。

(1) 年4回発行し、1回40~48頁、英文、和文二本立とし特集号形式はとらない。

(2) 「総合論文」の項を新設する。このため投稿規定に「総合論文」の項を追加する。「総合論文」とは発表済みの内容でも、多数の自分の論文をまとめて質的に新しい知見が得られた総合的報告であれば、価値ある独創的な原著論文とみなす考え方である。多くの研究業績をあげられた諸先生からのご投稿を期待する。なお、博士論文(過去1~3年ぐらい)の内容を総合論文として投稿募集することも検討中。

(3) 種々の国内学会誌掲載の「熱測定」関係の論文のアブストラクト。同じく博士論文のアブストラクト。

(4) 「ノート」は原著小論文以外に、従来の実験ノートの内容のものも含ませる。即ち実験方法、装置や測定上のノウハウの詳細を記述した論文で、自分で将来引用できるレベルのものを期待する。

(5) 「材料紹介」アンケートを行い、結果を編集委員会で整理し公表する。熱測定の実際において、装置の自作、市販装置の改良、各種測定に当り各自が常用しているがあまり一般化されていない材料、素材、高純度物質、標準物質などの詳細を広く会員に知らせる。

(6) 「講座」の内容は熱測定講習会テキストにも使用できるテーマを含めて考える。

(7) 毎年シリーズとして発行される「熱・温度測定と熱分析」は特集号形式と色々の分野の進歩総説形式の二本立てで編集する。

おわりに、「熱測定」が「熱の分野」における最高権威のある邦文誌であるために、会員の皆様の積極的なご協力をお願いする次第である。またアンケートにご協力を賜った委員各位に深く感謝する。

(昭和57・58年度編集委員長 谷口雅男)

- 文献 1) 関, NEWSLETTER 1, No.1, 1(1970), 2) 神戸, NEWSLETTER 4, No.4, 14(1973), 3) 関, 熱測定, 1, No.1~2, 1(1974), 4) 編集委員会, 熱測定 1, No.1~2, 59(1974), 5) 編集委員会, 熱測定 3, No.4, 158(1976).